

公共施設マネジメントの取組

～費用とサービスの最適なあり方を目指して～

府中市 行政管理部 建築施設課

公共施設マネジメント担当副主幹
日原 治人

公共施設とインフラで異なる手法

どちらも維持及び更新に費用がかかるが、マネジメントを進める手法が異なるため、公共施設とインフラを分けて取り組む。

公共施設
(公共建築物)



学校



文化センター



美術館

インフラ
(都市基盤施設)



道路



下水道



公園

マネジメント

公共施設マネジメントとは

- これまでの施設の「管理」や「整備」からの転換

個々の最適化

各施設が、それぞれ必要とする規模、機能を検討し、実行する



全体の最適化

市の施設全体を捉え、各施設で必要となる規模、機能を検討し、実行する

事後保全



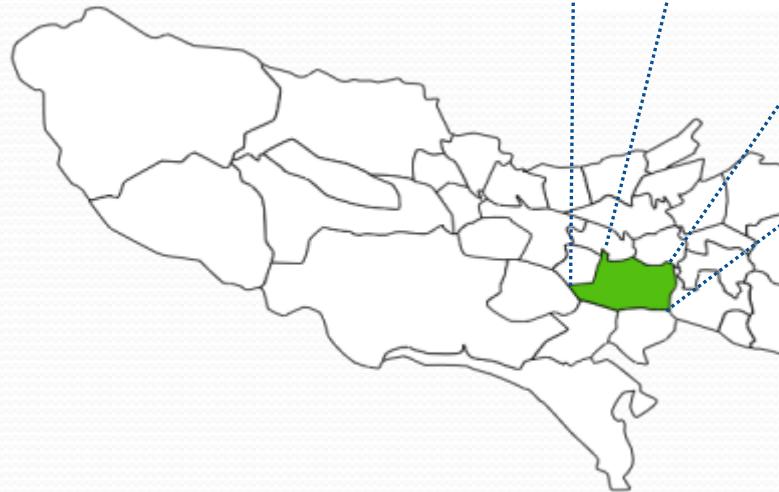
計画保全

長期的かつ全体を見渡し、計画的に対応する

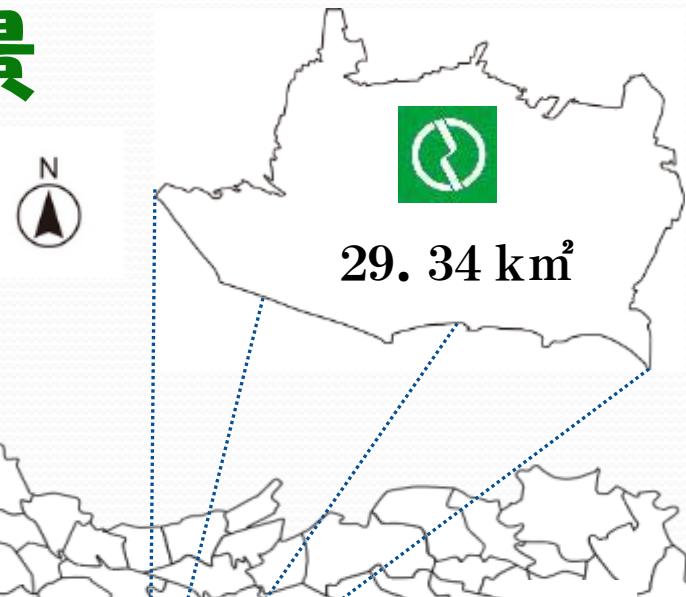
- 公共施設を「資産」として捉え、効率的な活用を図り、最小の費用で最大の効果を生み出すことを目標に取り組む。

取組の背景

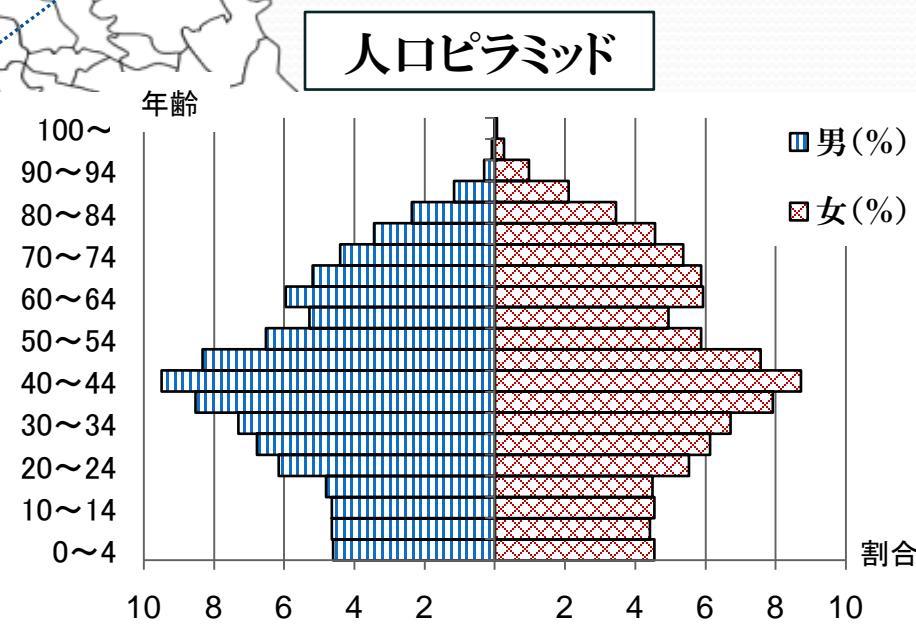
位置



人口 253, 530人
(H25. 10. 1現在)



国指定天然記念物
馬場大門のケヤキ並木



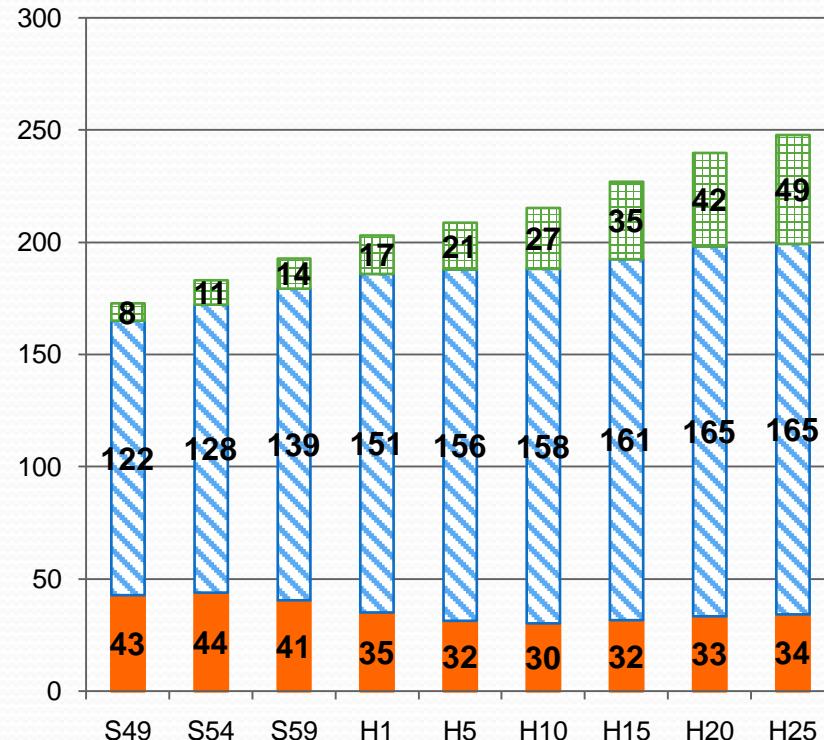
背景1 人口

- 人口の推移(5年ごとの実数、全体に占める各年代の比率)
人口は一貫して増加するものの、着実に少子高齢化は進む。

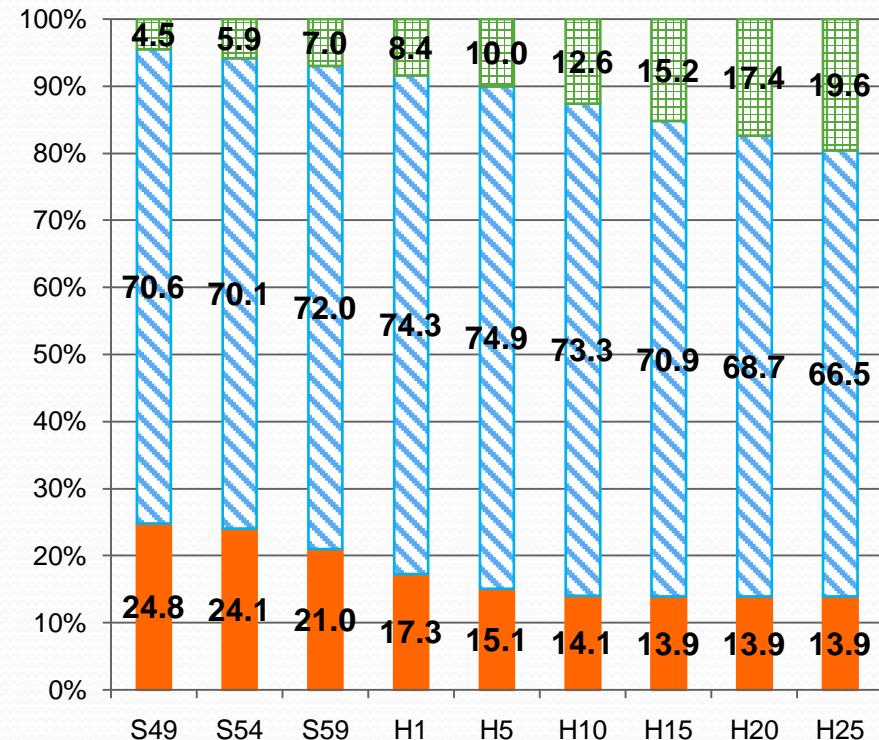
■ 65歳～
□ 15～64歳
■ 0～14歳

千人

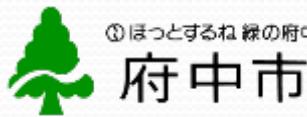
人口の推移



各年代の比率の推移



①ほっとするね 緑の府中



住民基本台帳(毎年1月1日)より作成

背景2 財政

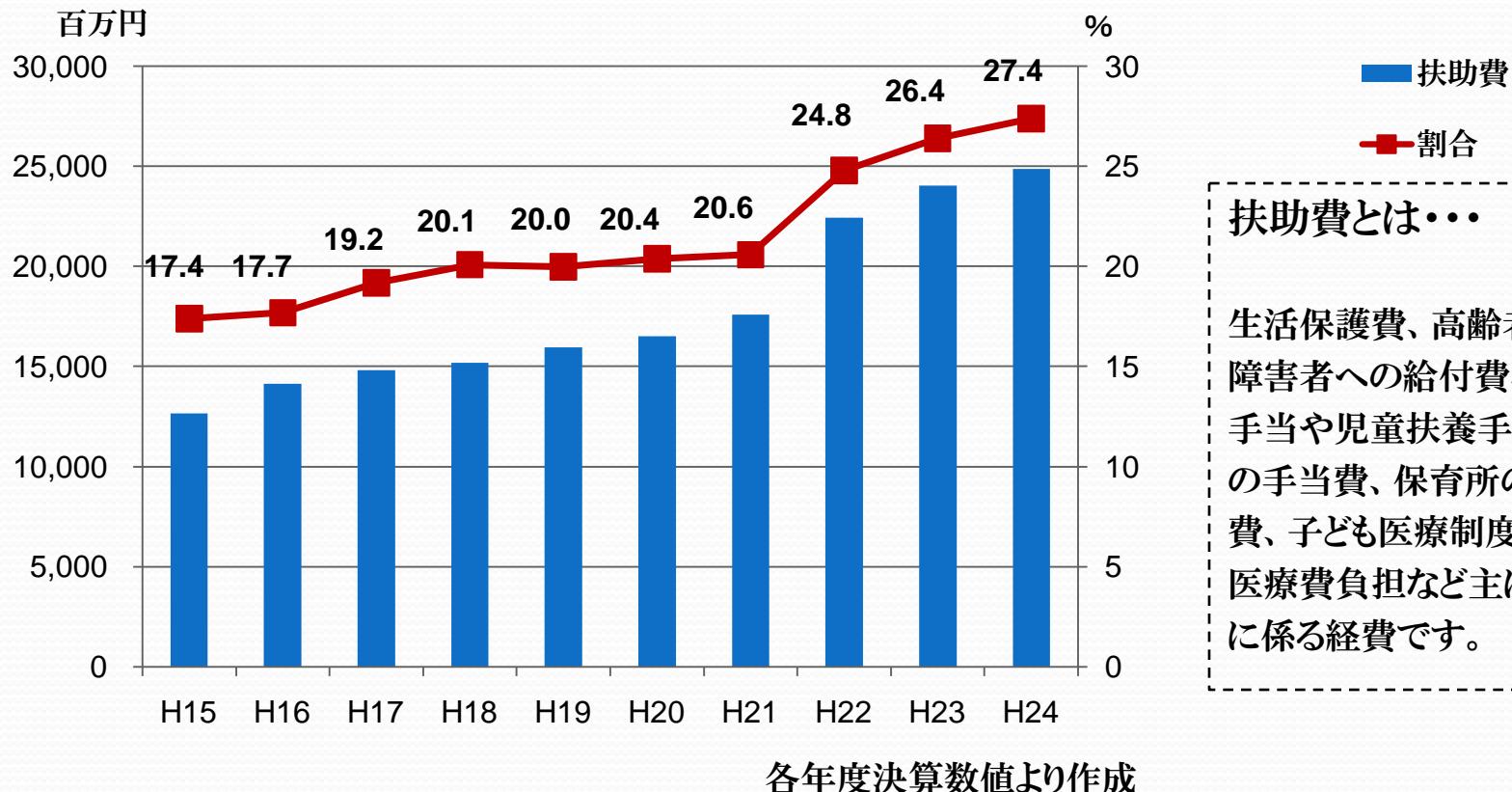
- 財政力指数 1. 1
- 経常収支比率 88. 6%
- 実質公債費比率 6. 2% (H24決算より)

各種指標は良好だが、今後、更なる扶助費の増加、公共施設の老朽化への対応が見込まれ、財政状況が急速に悪化する恐れがある。

今後も市の魅力を維持しながら、公共施設マネジメントを推進していくためにも、選択肢が残されている、財政状況が良好なうちに取り組む必要がある。

(参考1)

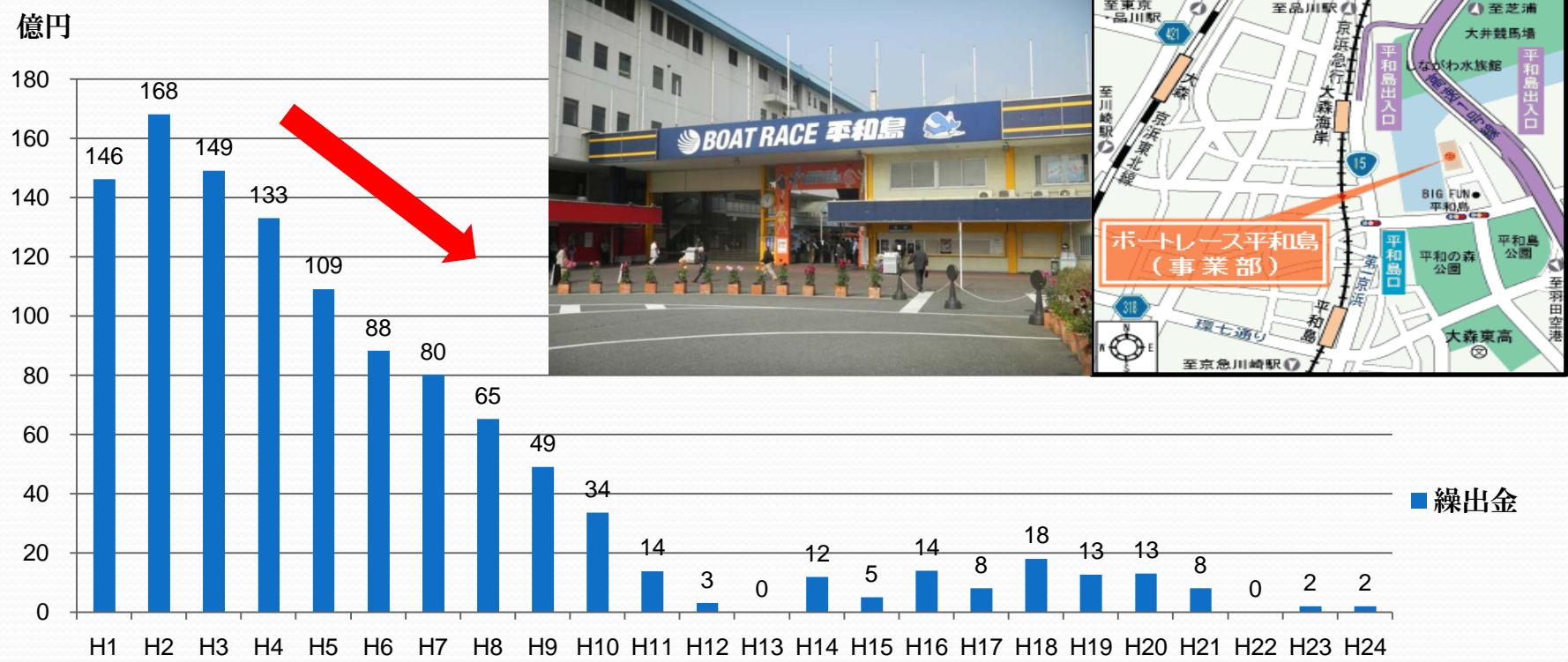
- 扶助費の増加、歳出(普通会計)に占める割合の推移
近年の伸びは大きく、歳出全体の30%近くを占める。



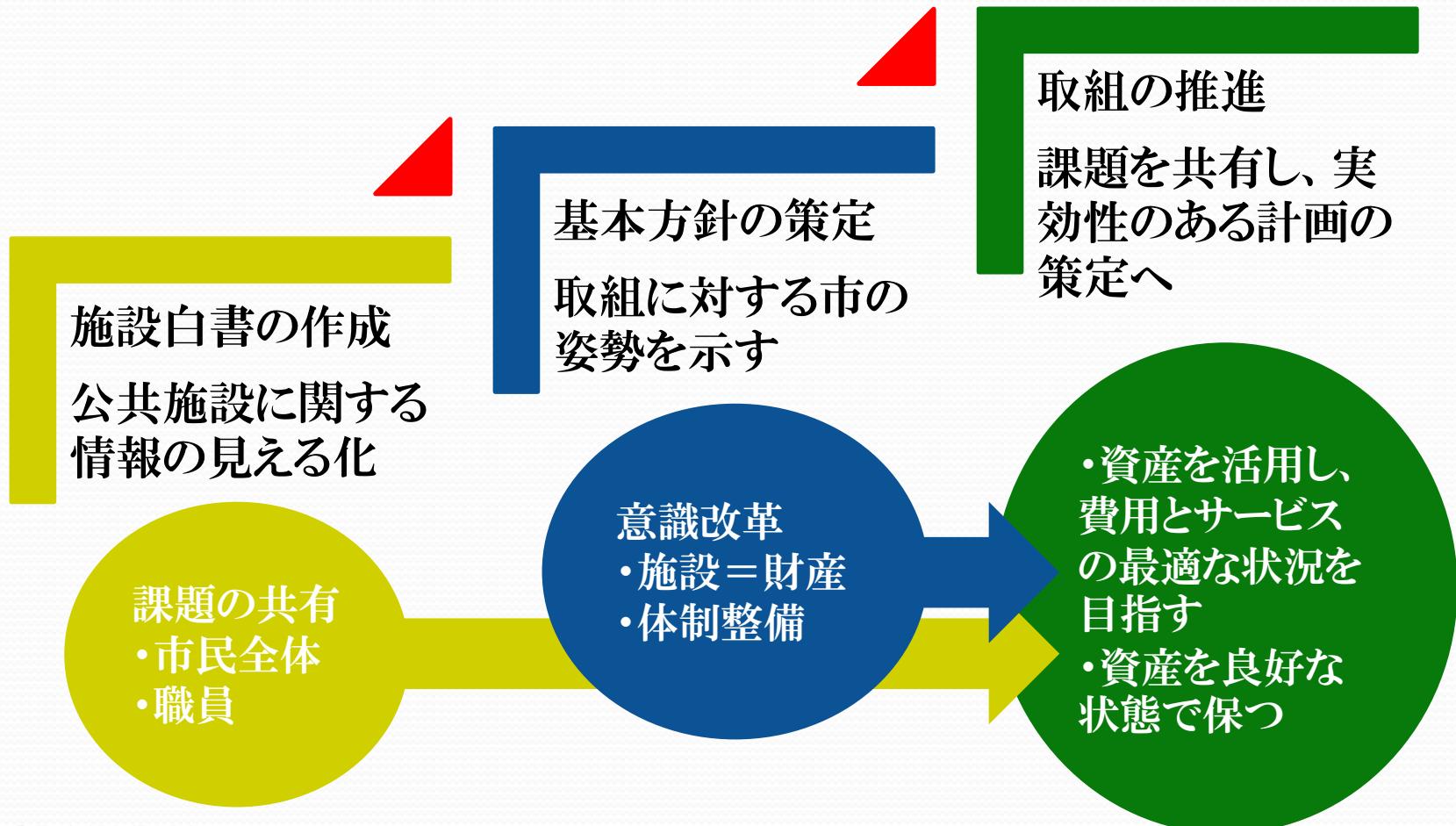
(参考2)

- 競走事業特別会計からの 繰出金総額の推移

大田区平和島で行われているモーターボート競走事業を開催
売上の減少に伴い繰出金は減少、平成24年度は2億円



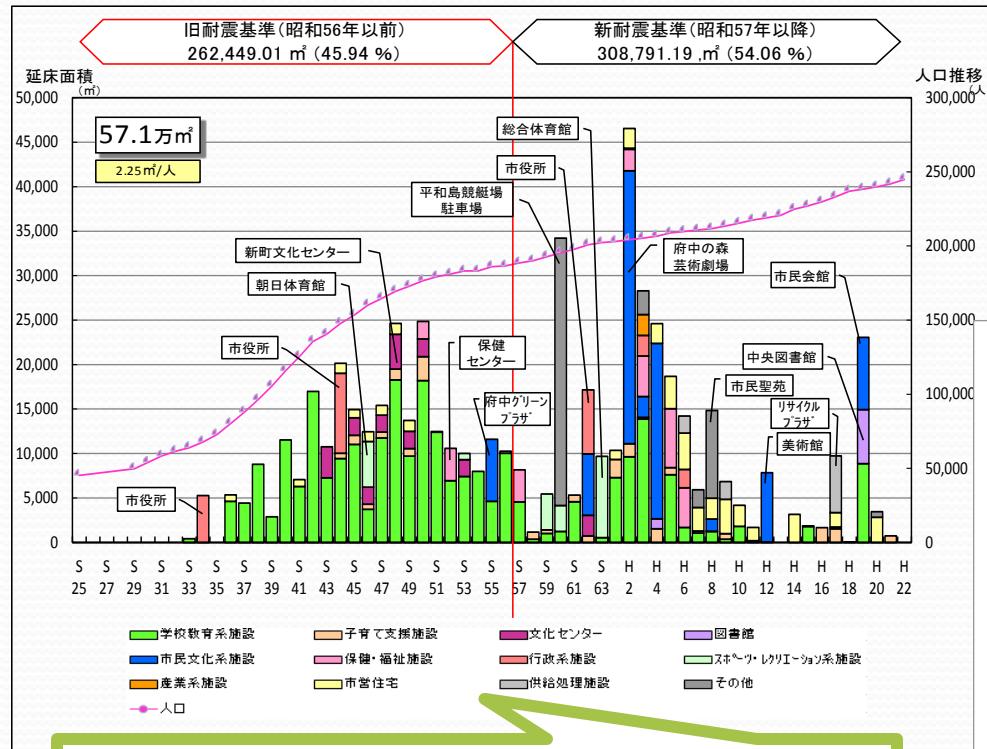
公共施設マネジメントの3ステップ[°](第3段階)



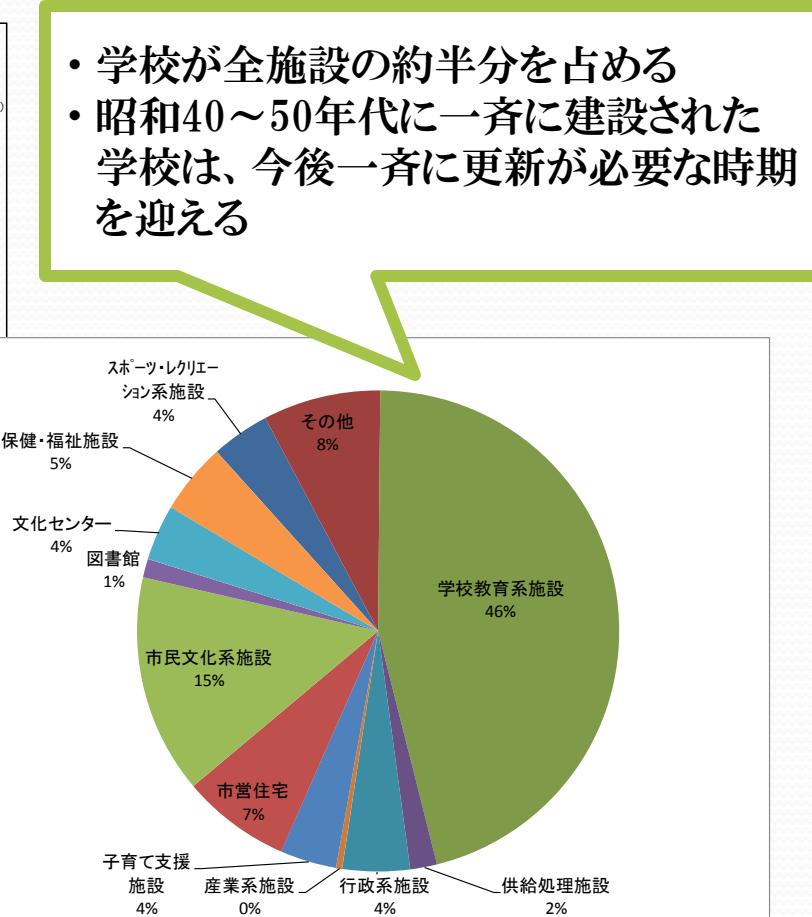
府中市公共施設マネジメント白書

平成23年3月作成

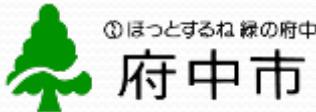
築年別整備状況



- ・昭和40～50年代には学校や文化センター
 - ・平成のはじめには、文化・スポーツ施設



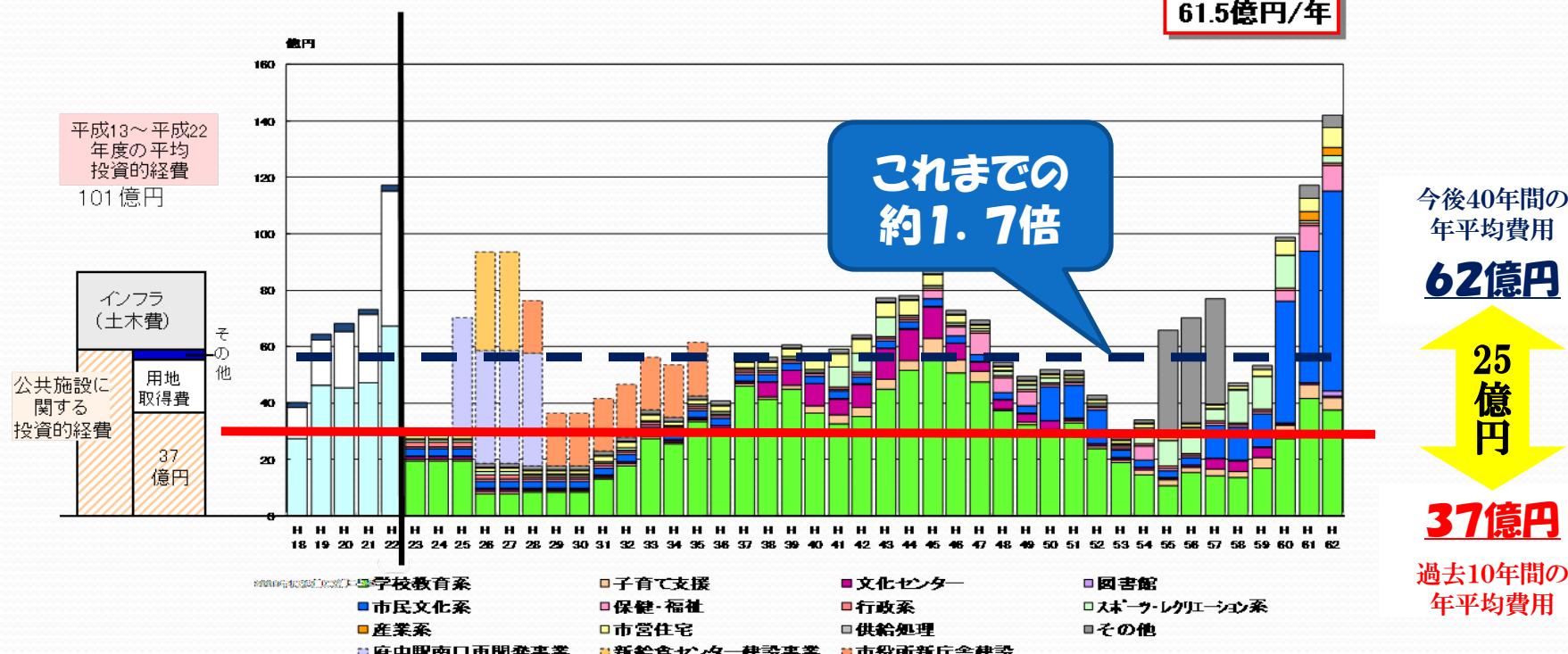
用途別延床面積の割合



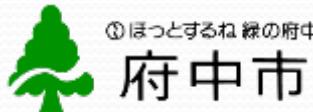
今後の公共施設の更新コスト

府中市公共施設マネジメント基本方針より

施設用途別



- 維持及び更新にかかる費用の不足は明らか → どうする？



府中市公共施設マネジメント基本方針

平成24年5月策定

3つ

の視点を持って取り組む

5つ

の方策を掲げて取り組む

(視点)

- 1 公共施設を資産と捉えた維持管理及び活用における効率性の追求
- 2 長期的に健全財政を維持するための仕組みの整備
- 3 市民・地域の状況の変化への対応

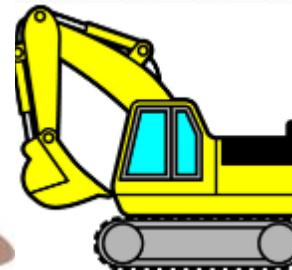
推進するための5つの方策

- ①施設の総量抑制・圧縮
- ②財政バランスの維持に向けた手法の検討
- ③機能に着目した施設の有効活用
- ④全庁を挙げた体制の整備
- ⑤課題を市民と共有し、市民等との共通認識に基づく協働

①施設の総量抑制・圧縮

- 新たに施設を整備したら、同程度の床面積を削減 = **抑制**

新設
○○m²

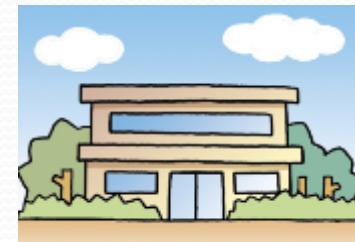


既存施設
○○m²

- 既存施設は、複合化や統廃合 = **圧縮**



市民会館



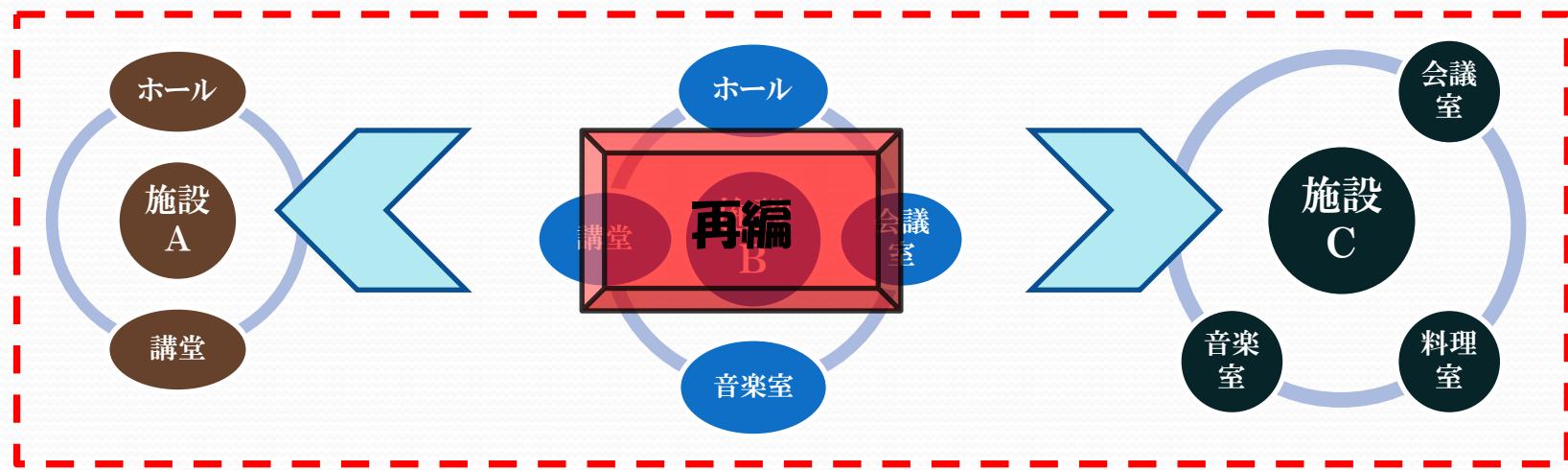
図書館



複合施設

③機能に着目した施設の有効活用

- ・サービスの向上のため、既存施設の共用化
- ・各施設が連携し、補完し合うことによる公共サービスの提供
- ・長期的なニーズの変化に対応できるように施設を整備



⑤課題を市民と共有し、市民等との共通認識に基づく協働

- 情報を見える化することによって、市民と課題を共有し、公共施設マネジメントの推進につなげる

公共施設マネジメント白書



パンフレット



説明会など



これから第3段階へ！



施設白書の作成
公共施設に関する
情報の見える化

課題の共有
・市民全体
・職員

基本方針の策定
取組に対する市の
姿勢を示す

意識改革
・施設＝財産
・体制整備

取組の推進
課題を共有し、実
効性のある計画の
策定へ

・資産を活用し、
費用とサービス
の最適な状況を
目指す
・資産を良好な
状態で保つ

公共施設・インフラに関する市民アンケート

20歳以上の市民3,000人(無作為抽出)を対象に、本年9月～10月に実施。
回答率 38.2% (1,146人)

公共施設について

選択肢	賛成率
PPP(公民連携)	84%
長寿命化	81%
売却・貸付	80%
統廃合・多機能化	79%
広域化	66%
使用料値上げ	56%
サービス水準引き下げ	49%
地域への移管	44%
増税	17%

インフラについて

選択肢	賛成率
売却・貸付	87%
PPP(公民連携)	81%
長寿命化	76%
広域化	72%
軽微な劣化を容認	62%
サービス水準引き下げ	46%
統廃合	45%
地域への移管	42%
手数料値上げ	40%
増税	18%

※ 賛成率とは、「実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」の合計

公共施設マネジメントの推進

今後、「最適化」と「計画保全」の2つの考え方を軸に展開



現在

公共
施設



ご静聴ありがとうございました

続いて、インフラマネジメントについてご説明いたします。

※ 府中市公共施設マネジメント白書や、府中市公共施設マネジメント基本方針は市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/shisei/kekaku/koukyousisetumanejimenntotorik/index.html>

府中市 公共施設マネジメント



公共施設マネジメントのお問い合わせは、
府中市 行政管理部 建築施設課 公共施設マネジメント担当
TEL 042-335-4358
E-mail kenchiku04@city.fuchu.tokyo.jp